

2019年度 幾代会 8月の観察会 ルート 御岳山ルート→七代の滝→上養沢

実施日 令和元年 8月4日(日) 天候 晴れ 参加者 羽深 越前 須崎 岡 中部

下見 令和元年 7月29日(月) 天候 晴れ 参加者 宇津木 須崎 中部

●観察された植物

ヒメキンミズヒキ ヤマトウバナ ヒメヤブラン ヤマトリカブト ミヤマタニソバ ミヤマタニワタシ  
オカトラノオ ハキダメギク ヤブマメ ミツバ ガクアジサイ ヤエドクダミ コバギボウシ ソバナ  
オオバギボウシ ヤブカンゾウ ヤマユリ オオバジャノヒゲ ツユクサ コウヤボウキ タマアジサイ  
ヤマホタルブクロ キヌタソウ ノリウツギ ウマノミツバ ヘビイチゴ キンミズヒキ ボタンヅル  
ウバユリ アカショウマ レンゲショウマ ユウガギク ヌスビトハギ ジシバリ あといくつか。

\* 太字はちょい迷い

七代の滝では

タマガワホトトギスの群生 イワタバコの群生 いずれも見ごろの様相。

●実施状況

実施要項通りの時間に御岳山駅に集合 かなり混雑の様子有。1便早いケーブルはギュウズメの様相  
ホリデー快速分がむしろバスにゆとりありか。例によってケーブル下からの歩きに嫌気があり。

御岳山駅広場で須崎様提案の足腰伸ばしのストレッチ体操。レンゲショウマ群生地へ→急傾斜を登らず下の道  
巻きビジターセンタートイレ休憩し→ 御岳山神社の下を巻き→長尾平へ ここで30分ほどの遅れがあり  
昼食とする。2名下山

11時55分 七代の滝に階段状の坂を0.6kとあるがジグザグで降りる。歩く距離1kmかと思うほど  
途中出会う客あり4組ほど 前と後ろに子供をおんぶした男性に称賛の声。旦那は本日の難儀を奥様の愛情で  
解消かとだべりながら。登る客3組 下る客1組と出会う。

七代の滝到着12時35分 足の具合はショックで多少の不具合ありかと思うが、問題なしの到着。ガラガラ  
道は直すのは困難な状況かと。急な斜面につき危険の度合いも高い。

思うほど暑さ感じないが水分補強に心がける。滝の手前で沢の水を飲む。この沢は七代の滝とは別の流れで  
地下水のようになっているところから湧き出した水である。温度はさほど冷たくないで地下の浅いところで  
流れているらしい。七代の滝は岩盤を横切り到着。先の雨でぬれた岩盤の上を歩く。

七代の岩盤は古生代の岩盤で褶曲の様子やプレートの押しつけたすさまじい地球の活動の様子を見る。落下  
した石の陰に七代の滝が見える。岩盤にはタマガワホトトギスが群生している。またその中にイワタバコも群  
生しており紫と黄色の花に緑の葉とのコントラストに見入る。25分ほどここで時間を取り写真撮影に興ずる。

いよいよ上養沢へ下山体制。歩く客は少なく歩くには注意が必要。綱渡り 湿地あり 土砂崩れ有。  
ここを過ぎると舗装された道となる。すぐに車発見 すぐ近くの河原にテント発見。全くの解放になったまま  
車2台でどん詰まりまで来てキャンプの様子。どこを歩いているのか。

養沢川の音を聞きながら、3.6kほど下る。1k当たり100mを下る急斜面といえる。そのため水を遮る  
堰堤がいくつもある。途中の広場で休憩 顔を洗う。

関東ふれあいの道と出会いそこからバス停まで。あと17分ほどあるが2分ほどするとバスがやってきた。  
追い越した8人グループも乗るらしい。バスはドアを開けてくれて全員座席に座ったら座るところなし。15  
分ほどバスの中だが、冷房は入れてもらえなかった。しかしわずかに風があり。車内に入る。

予定通りに出発、途中で乗る客が次々に小型のバスはぎゅう詰め五日市に到着。途中降りる客なし。  
座れなかったら、35分も立ったままだっただろう。

五日市からホリデー快速で拜島へ 今回は徘徊紀行文でご容赦候。



ヤマユリ (ユリ科・ユリ属)



ガクアジサイ (アジサイ科・アジサイ属)



ボタンヅル (キンポウゲ科。センニンソウ属)



レンゲショウマ (キンポウゲ科・レンゲショウマ属)

中部記